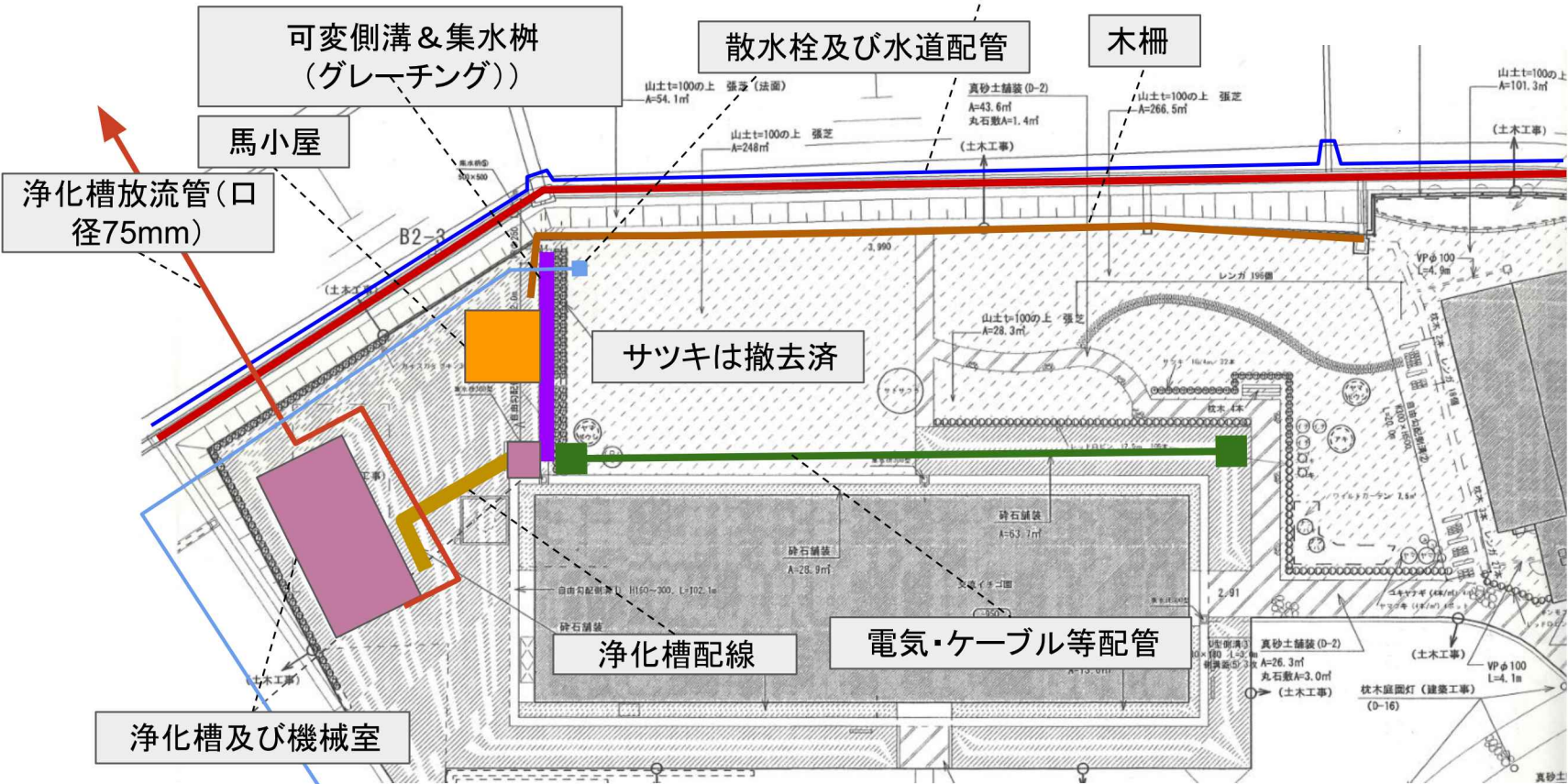


農業用水(埋設)【口径150mm】



農業公園の造成経過等①

- ・もともとの地形は、棚田エリア
- ・石炭火力発電所建設やトンネル工事の土置場とされた。(造成全体図・断面図参照)
- ・発電所建設工事中は、事務所や作業員の宿舎が建設されていた。(写真参照)
- ・建物が複数建っており、土壌改良剤が大量に入っていると聞いている。



農業公園の造成経過等②

- ・土手沿いの水路(開渠)及び外側法面は、関西電力の造成した当時のまま活用。
- ・跡地に、公園整備工事として、市が平地部分のみ1m程度の盛土(表土10~20cmは真砂土)を行った。
- ・写真の水路外側に、関西電力が地元補償工事で農業用水のパイプ(150mm)を埋設している。
- ・深さは300mm程度と思われるが詳細図面が残っていない。(右下の写真は、公園入り口付近での敷設替え時の旧パイプの掘り起こし時の様子…深さ参考)



別添 図面関係

- 01 土置場造成全体図・断面図
- 02 木柵・可変側溝(自由勾配側溝①)断面図等
- 03 集水枿⑤(可変側溝土手側)図面
- 04 馬小屋図面
- 05 電気・ケーブル等配管位置図
- 06 温室北側浄化槽周辺配管図・平面図